

市町村のフレイルに関するニーズと 未病産業への期待について

未病産業社会実装モデル事業運営事務局
(一般社団法人 神奈川県中小企業診断協会)

未病産業社会実装モデル事業(以降モデル事業)が目指すもの

県の「ヘルスケア・ニューフロンティア」政策の一環として、地域のフレイル課題解決を目的に、未病関連の製品・サービスを活用し、県内市町村等と連携したモデルを構築する

<県内市町村等の共通課題>

- ・無関心層へのアプローチ
- ・移動等が難しい方へのアプローチ
- ・住民を関連施策・事業につなげること
- ・高齢者のITスキルにあったアプローチ
- ・専門職の業務負荷の軽減等

県内市町村等
(フレイル・未病への取組)



未病産業(企業)
(製品・サービスの提供)

<目的2>

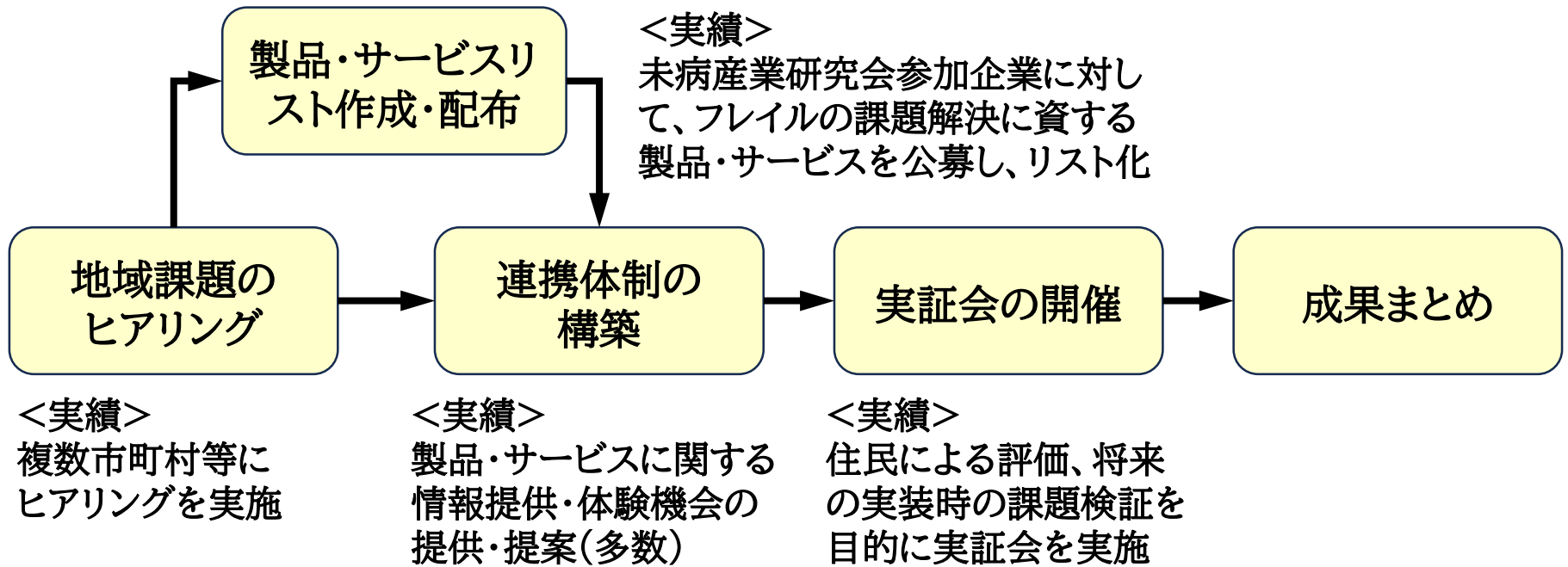
有効事例を横展開し、市町村・企業間の交流を促進することにより、未病産業のすそ野の広がり、健康寿命延伸への貢献を目指す



<目的1>

市町村が製品・サービスを経験・検討する機会を提供する

モデル事業のスキーム



	実証会プログラム概要
平塚市	関係機関と連携し、エーザイ(株)の「のうKNOW®(※)」を使用した簡易的な認知機能チェックを実施
〃	公民館の社会教育活動の一環として、(株)ORPHEの「歩容解析システム(ORPHE ANALYTICS) (※)」とUNTRACKED(株)の「転倒リスク計測装置 StA²BLE®(※)」による測定会と講話を実施
綾瀬市	転倒予防教室として、上記「StA²BLE®」、県の「未病指標」、「lon1」、「講話・体操」を実施(次頁に詳細)
開成町	いきいき健康体操指導員、フレイルサポーター向けの研修の一環として、(社)日本声ヨガ協会の「喉トレ健康かるた」体験会を実施

(※)「ME-BYO BRAND」認定商品、StA²BLE®に関してはR6年度認定

(事例)綾瀬市転倒予防教室(1/2)

＜綾瀬市の目標「第9期介護保険事業計画より抜粋」＞

健康寿命の延伸を図ることの具体的取組の一つとして、「65歳以上の住民に自身の身体に気づいて頂き、フレイル予備軍を減らすこと」を目的に、「フレイル予防に自ら取り組むための動機付け」として、フレイル測定会を開催

＜ヒアリングで確認したフレイル測定会に関する課題＞

「測定会での待ち時間の解消」、「参加者の関連事業への誘導」、「結果に基づいた個別アドバイスの実施」等



＜モデル事業のアクション＞

- ・ 市とのディスカッションにより優先項目を確認
- ・ 現状把握のため、測定会を見学し、参加者の意識を確認



UNTRACKED株式会社の転倒リスク計測装置:StA²BLE®を提案し、マッチングを経て、実証会の開催を合意



＜提案の骨子＞

- ・ 評価系のME-BYO BRANDの製品
- ・ 簡易な測定&結果の分かりやすい表示
- ・ 結果に基づくlon1の実施

(事例)綾瀬市転倒予防教室(2/2)

次年度に向けた運用検証を目的に、転倒予防教室(実証会)を開催

参加者:17名(男性 1名、女性16名)

プログラム:StA²BLE®による転倒リスク計測&県の未病指標測定、lonl、講話、体操
(計2時間)



＜参加者評価(抜粋)＞

- ・満足度81%
- ・「運動するきっかけになる」、
「アドバイスが参考になった」等

＜綾瀬市評価＞

- ・StA²BLE®による立位の測定は市のニーズにミートする
- ・運用上の課題が明確になった

＜まとめ＞

- ・今回の実証会は、高齢者自身の行動変容の可能性を示唆する
- ・評価結果に基づくlonlの効果は大きい

企業への期待(1/2)【R6年度モデル事業より】

市町村は、市場に流通するヘルスケア製品・サービスに関する情報が全般的に不足しており、提供する製品・サービスの持つポテンシャルに気付いていないことも多い

1. 新たな課題解決に資する可能性

例えば、人口減少と高齢化により、外出が難しくなる地域において、ITの活用により、在宅でフレイル予防が出来るツール等

2. 未病の見える化と介入による未病改善の可能性

例えば、綾瀬市の事例でご紹介した転倒リスク計測装置は、測定だけでなく、結果を分かりやすく表示するとともに、生活面で留意すべきことへの参考情報を示す

3. 多様なニーズに対応できる可能性

例えば、開成町の実証会で使用した「喉トレ健康かるた」〔(一社)日本声ヨガ協会提供〕。
未病産業のすそ野は広がっており、市町村の様々な現場での多様なニーズに対応できる



市町村等と企業との継続的な対話が**出来る場づくりと企業からの情報提供が重要であり、市町村の課題を踏まえた企業側からの仕掛けが必要**

企業への期待(2/2)【R6年度モデル事業より】

【製品・サービスの企画、開発時】

- ・ 高齢者のデジタルデバイド
- ・ 導入後に手離れの良いこと

【製品・サービスに関する情報提供時】

- ・ 機能とともに、運営面での留意事項のご提供にも配慮いただきたい
- ・ 提案頂く製品・サービスの他市町村での事例は貴重な情報となる
- ・ 費用対効果算定方法のヒント(特に効果の算定)は大きな参考情報となる

<R7年度モデル事業の活動予定>

過年度にヒアリングした市町村等の課題の深堀と県西部への新規アプローチ



フレイルに関する課題に対応するため、市町村・未病産業(企業)・県の緊密な連携の基に、今後とも取組んでいきますので、よろしくお願い申し上げます